

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
火山噴火予知研究シンポジウム (第2回)	昭和63年1月25日		日本学術会議講堂	Vol. 34, No. 11
Tropical Micro-Meteorology and Air Pollution 国際研究集会	1988年2月15日 ～19日		インド, ニューデリー	Vol. 34, No. 4
日本気象学会 昭和63年度春季大会	昭和63年5月18日 ～20日	日本気象学会	柏市民文化会館・勤労会館	Vol. 34, No. 12
第12回レーザセンシング シンポジウム	1988年5月27日 ～28日	レーザ・レーダ研究会 シンポジウム実行委員会	岡山市・桃花苑	Vol. 34, No. 10
Scale Modeling 国際シンポジウム	1988年7月18日 ～22日		東京	Vol. 34, No. 6
国際シンポジウム第3回 流れのモデル精度向上化	昭和63年7月26日 ～28日	同組織委員会, 他	日本都市センター	
第27回 COSPAR 総会	1988年7月18日 ～29日	宇宙空間研究委員会 (COSPAR)	フィンランド, ヘルシンキおよびエスプー	
国際オゾン・シンポジウム	1988年8月8日 ～13日	IAMAP オゾン委員会	西ドイツ, ゲッチンゲン (ゲッチンゲン大学)	Vol. 34, No. 1
Postgraduate Summer School on Microwave Remote Sensing for Oceanographic and Marine Weather-Forecast Models	1988年8月14日 ～9月3日	EARSel	イギリス・スコットランド Dundee 大学	
国際放射シンポジウム	1988年8月18日 ～24日	IAMAP 放射委員会	フランス, リール	Vol. 34, No. 1
The 2nd International conference on Atmospheric sciences and Applications to Air Quality	1988年10月3日 ～7日	同国際組織委員会 国内組織委員会	日本学術会議	Vol. 34, No. 9

編集後記：光陰矢のごとで、初雪のたよりが北の方からぞくぞくと届けられる季節がもうやってきました。人間の方は、自分の活動度というか充実度やら年齢？やらで時間はいくらでも伸び縮みするのに、自然というのは、ほんとと正確なものです。その点からすれば、1988年の年間予報なるものをもし発表するとすれば、「1, 2月は寒いですが、その後暖かくなり、7, 8月は暑いでしょう。その後は気温は下降に向かうでしょう。」で十分

当たるでしょうね。

気象の世界はスケールの世界であると言われますが、今月号も地球内の様々なスケールがとり上げられています。

昨年から編集委員をやっています。「天気」の幅広い読者とともに1988年も充実した年になりたいと思っています。(靖)